

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	心理システム計測		
英文授業科目名	Measurement for Psychological Systems		
開講年度	2007年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	清水 豊		
居室	西5 - 201		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>(a) 主題： 「こころ」の特性は職業適性，産業安全，集団生活適合性などシステムや社会に広く係わる問題です。この授業では「こころ」の特性を発達や行動という視点から捉え，具体的な計測法の仕組みについて解説します。</p> <p>(b) 達成目標： 「こころ」を計測する原理やその限界を理解すると共に，性格や適性検査の利用可能性と問題点を把握することです。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特にありません。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
心理学，行動科学。

<b>【教科書等】</b>
参考書：渡部 洋 編著 「心理検査法入門」福村出版。

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容：

第1回： 「こころ」を計測するということの意味

第2回： 研究の歴史

第3回～第5回：心理計測の基礎数理

よく使う統計量

評価基準

妥当性と信頼性

第6回：心理因子の抽出法

第7回：項目反応理論

第8回，第9回：知能の計測

第10回，第11回：性格・人格の計測

第12回，第13回：職業適性・進路適性の計測

第14回，第15回：感覚・知覚・記憶・学習と運動能の計測

(b) 授業の進め方：

図表を多用してわかりやすく解説します。また，幾つかの有名な心理テストを実践してテストに対する理解を深めます。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：

試験の出来具合、および出席状況によって評価します。

評価基準：

1. 専門用語の習得度 20%
2. テストの理論の理解度 20%
3. 知能テストに対する習得度 10%
4. 人格テストに対する習得度 10%
5. 職業適性・能力テストに対する習得度 20%
6. 出席状況 20%

を評価の割合として，60点～69点を可，70点～79点を良，80点～89点を優，90点以上を秀とします。

【オフィスアワー：授業相談】

予めメールにて予約してください（基本的には月曜日～水曜日の12:15～13:30, 17:00～18:00です）。

【学生へのメッセージ】

知能，性格，適性などを対象に人間の「こころ」の仕組みを客観的に計測する方法を解説します。これまで受けてきた試験，あるいはこれから受ける就職試験など皆さんが体験するテストの背景を理解するのに役立つと思います。

電気通信大学 平成19年度シラバス

【その他】